ごあいさつ

わが国の農業は、担い手の高齢化や後継者不足により、今後生産人口が減少すると予想されています。また、グローバル化による農産物の価格低下といった、厳しい環境の変化にもさらされています。このため、国では大規模農家に農地を集積し、経営規模拡大による効率化を進めることで、競争力を高める取組が行われています。

一方、大津市でも、南北両端に存在する自然に恵まれた優良農地を中心に、中心経営体への農地集積を進めております。しかし、本市には中山間地域の勾配が急な農地や、市街化区域に点在する農地等、効率的な作業ができない農地も多く、また、小規模農家が多いことから、容易に経営規模拡大を推進できる状況にはありません。

そのため、本市では県下最大の消費地であるという強みを生かすべく、これまでから地産地消を推進し、安全・安心な農産物の供給拡大に取組むと共に、６次産業化により付加価値の高い商品を開発するため、大学との連携をはじめ、地域の取組に対する支援にも力を入れてきました。

今後も、これらの取組を進めていくためには、生産者と消費者が大津市農業の将来像を共有し、共に支えていくことが重要であると考え、新たに平成29年度から12年間を計画期間とする「大津市農業振興ビジョン」を策定いたしました。

本ビジョンでは、「農ある暮らしがつなぐ湖都のきずな　地域で支える多様な農業、地域でつくる豊かな食」をコンセプトに、今後様々な取組を行い、大津らしい農業を市民の皆様と共につくり上げていきたいと考えております。

最後になりましたが、本ビジョンの策定に当たり、懇話会の皆様をはじめ、ビジョン策定の際にアドバイスを頂戴した関係者の皆様、パブリックコメントに貴重な御意見や御提案をお寄せくださいました皆様に心から御礼を申し上げます。

平成29年3月

大津市長　越　直美

目　次

第1章　大津市農業振興ビジョンとは　1

1.ビジョン策定の経緯　1

2.ビジョンの位置づけ　2

3.ビジョンの計画期間　2

第2章　大津はこんなところ（大津市の概況）　3

1.自然・地理　3

2.沿革・歴史　4

3.人口　5

4.産業　6

第3章　大津の農業のいま（大津市農業の現状と課題）　7

1.農業が盛んなところはこんなところ　7

2.こんな農産物の生産が盛んです　9

3.農家のみなさんはこんな人　10

4.大津の農業を取り巻くいろいろ　11

第4章　大津の農業、2029年の将来像（コンセプト）　13

第5章　2029年に向けた「5つの柱」（ビジョン実現の基本方針）　15

第6章　大津の農業、こんなことします（具体的取り組み）　17

1.「人をつくり、仲間をつくる」ー育てよう！次代を拓く担い手の輪　17

2.「土をつくり、畑をたがやす」ー守ろう！実り豊かな農村空間　19

3.「種をまき、育てる」ー探そう！さらなる農の可能性　21

4.「収穫し、お届けする」ー広げよう！農の恵みをどこまでも　23

5.「恵みを味わい、農に親しむ」ー楽しもう！身近な暮らしにあふれる農　25

第7章　みんなで支える大津の農業（ビジョンの推進体制）　27

第8章　参考資料　28

1.懇話会委員一覧　28

2.ビジョン策定までの検討過程　28

3.用語解説　29

4.大津市農業の基礎データ　31

※統計資料は入手できる範囲で最新のものを掲載しております。